

地域森林計画編成事業費補助金（継続）

1 趣 旨

平成13年の森林法等の改正により、森林計画制度の下で、森林の多面的機能の持続的発揮を図る観点から森林を重視すべき機能に応じて「水土保持林」「森林と人との共生林」「資源の循環利用林」の3つに区分し、区分に応じた望ましい森林整備・保全を推進することにより、森林生態系の保全と森林資源の循環利用が両立した適切な森林管理を推進することとした。

このような新たな制度の下で適切な森林整備を推進するため、地域の森林整備の基本的方向を示すとともに、市町村森林整備計画を策定する際の規範となる地域森林計画について、森林GISデータ基盤整備等を通じて森林の状況を的確に把握・分析したうえで、計画書その他の関係図書として適切にとりまとめることにより、重視すべき森林の機能や地域の要請を適切に反映した計画の策定を行い、地域のニーズに応じた多様な森林整備・保全を推進する。

2 事業内容

(1) 森林GISデータ基盤整備費

都道府県における森林GISの整備に不可欠な地形図等のデジタル化、デジタルオルソ化等の森林空間データ基盤整備を行う。

(2) 森林資源モニタリング調査費

地域森林計画における森林の整備に関する基本的な事項等を定めるのに必要な客観的資料を得るため、森林の状態とその変化の動向をモニターする。

3 事業実施主体

都道府県

4 補助率

1 / 2

5 事業実施期間

(1) 平成14年度～18年度

(2) 平成11年度～

6 平成18年度概算決定額

426,050千円（439,427千円）